

マスク 1300 枚 作りました

音更町ブルースカイ 青木 枝美子

世界中がマスク不足の中、母子会の子ども達だけでも守りたい一心で、都合のつく会員がガーゼ・晒し・手拭い・細めのゴム・キッチンペーパー等々を持ち寄り、密状態の狭い部屋で会話や飲食を楽しみながら作り始めました。仕上げた50枚は、会員の子ども達と高齢者を中心に配り大満足でした。

数日後に、口コミで広がったのか問い合わせやオーダーが相次ぎ、マスク不足は深刻なんだと感じ、もう一度頑張ろうと決意しました。徐々にコロナ感染が広がる中、狭い空間での作業は危険を伴い、更に手持ちの手芸品は底を尽き、追い打ちをかけるように店頭からも材料が消えて購入できず行き詰まりになりました。

しかし、どん底から知恵を出し合い行動に移すのがチーム音更の母子家庭を思いやる底力です。家族・知人に連絡し、自宅に眠っている子ども用の白タイツ、ハンカチ・プリント柄の布・ワイシャツ・レ

スのカーテン・浴衣地等々をお願いすると、驚くほどのお宝が集まり何でもマスクになると新発見でした。安心距離を保つ少人数での作業、ラインや動画を利用し自宅での分担作業を根気よく繰り返し続けて、出来上がった作品は、布マスク800枚と使い捨てのキッチンペーパーマスク500枚です。タンズや押し入れに眠っていたお宝を下さった家族からは、気持ちいい断捨離が出来たと喜ばれ、マスクを受け取った方々が不安な気持ちを少しでも忘れることが出来たらと思いました。チーム音更は、自宅で内職をしているかのように充実した自粛生活を送ることが出来、今回の活動で新会員が3人も増えてうれしい限りです。

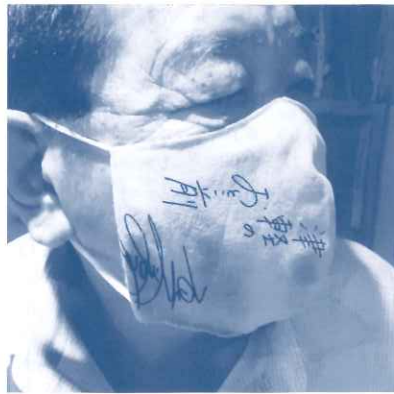


大量作成マスクの一部

ルスに負けない! マスク秘話



漂う高級感



「津軽のおとこ前」サイン入り



ミッキーマスク、お気に入り!



安心マスクにVサイン



疫病?も材料に



自前のマスク着用で作業中